

平成 19 年度 海岸工学委員会（第 1 回委員会） 議事録(案)

日時：平成 19 年 6 月 19 日（火） 14:00～16:00

場所：土木学会 2 階講堂

出席者：喜岡委員長、佐藤幹事長

荒木，池谷，磯部，今村（代理：富田），上野，宇都宮，大平，大山，岸田，黒岩，黒木，
小林，五明，柴山，武若，丹治，畑田，半沢，間瀬，水谷（夏），水谷（法）村上，横木，
渡部，岡安（代理：下園），木村，栗山，後藤，重松，清水（代理：関本），中山，
灘岡（代理：八木），橋本，日比野，福濱，由比，宇賀神（敬称略）

議事

0．委員長指名委員（大山，宇都宮，清野委員）の紹介および委員自己紹介（喜岡委員長）

1．前回議事録の確認（佐藤幹事長）

以下の前回委員会および幹事会の議事録が提示され，確認された．

- ・平成 18 年度海岸工学委員会（第 2 回委員会） 議事録（案）
- ・平成 18 年度海岸工学幹事会（第 2 回幹事会） 議事録（案）

2．報告事項

- ・喜岡委員長より，海岸工学委員会に対する研究委員会活動評価について報告された。昨年度は 3 つの全項目すべて A と評価された。なお、平成 19 年度から、評価 3 項目は変わらないが、総合評価方式が若干変更される。
- ・佐藤幹事長より，土木学会論文集再編に関する状況が報告された。
これまでの委員会論文集（海岸工学論文集や CEJ）を土木学会論文集と統合することが、検討されている。海岸工学委員会としては、講演会付論文集の重要性を認識していることを表明している。
- ・佐藤幹事長より、以下のとおり人事異動その他の報告がなされた。
鈴木委員から宇都宮委員に交代、
日本海洋工学会、大山委員が理事・運営委員
環境システム委員会 青木幹事から重松幹事に交代
地球環境委 柴山委員から荒木委員、 水工学委 後藤委員から日比野委員
海岸工学委員会事務局担当が熊谷氏から岩西氏に交代
土木学会事務局 磯崎氏の訃報

3．平成 19，20 年度 海岸工学委員会委員長の選挙

委員長選挙が実施され、磯部雅彦委員が新委員長となった。

4. 平成 19, 20 年度 海岸工学委員会構成について (新委員長より)

- 幹事長として 佐藤慎司委員 (留任)
- 相談役として 水口優元委員長を推挙

5. 海岸工学論文集第 54 巻 (第 54 巻海岸工学講演会) 応募論文審査について

(間瀬小委員会委員長)

- ・ 今年の投稿数 412 編 (昨年 418 編) であった。
- ・ 第 1 次査読の結果、18 点以上 269 編、17 点 71 編であった。17 点の論文のうち、評点 2 (登載すべきでない) が、1 つでもついた論文は不採択とした。その結果、採択論文は 300 編となり、採択率は 72.8% となった。
- ・ 第 2 次査読の結果、300 編のうち 4 編が辞退となった。現段階で、296 編が 2 次審査に進んだ。
- ・ 今後の査読で最終的に D と判定する場合、主査だけでは判断せず、編集小委員長に連絡したうえで、慎重に審議することを再確認した。
- ・ 2 次審査論文の提出期日、提出物等の確認がなされた。

6. 第 54 回海岸工学講演会の準備状況 (村上委員)

- ・ ホテル改装のため、第 4 会場 (西館: 8F) が東館 3 階の部屋に変更となった。
- ・ 講演会は朝 8:30 ~ 17:00 までとしたが、宿泊施設はほとんどが市内であるので、特に問題は無いと思う。
- ・ 現地見学会 3 コースの説明があった。

7. 第 55 回、第 56 回海岸工学講演会(会場)などについて

- ・ 第 55 回、海岸工学講演会 (富山) の準備状況に関して、由比委員より報告がなされた。日時: 2008 年 11 月 12, 13, 14 日、会場: 富山国際会議場 (大ホールと会議室 4 室確保) 前日シンポジウムのため、大ホールを仮押さえしている。
- ・ 第 56 回 開催地について、佐藤幹事長から、北関東ではどうかという案が出された。今後、検討を継続する。

8. Coastal Engineering Journal について(柴山委員)

- ・ 各 5 編づつの掲載で、現在、2007 年 6 月号まで出版され、9 月号は現在編集中である。
- ・ 今年度の CEJ Award は現在選考中で、次回幹事会までに決定予定である。

9. 研究小委員会の活動状況について

海岸工学論文集編集小委員会の任期について

現在 6 月から 2 年間となっているが、論文投稿、査読、出版、講演会の一連の手順を考え、半年任期を遅らせることとし、今年度の任期は 1 年半 (平成 20 年 11 月まで) とすることとなった。

小委員会活動状況および副委員長候補の紹介

小委員会活動状況

- ・ 沿岸域研究連携推進小委員会（上野委員）
資料に基づき、5月21日（木）開催の第18回沿環連ジョイントシンポおよび5月24日開催の平成19年度第1回小委員会の報告がなされた。
- ・ 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会（富田副小委員長）
資料に基づき、平成18年度の活動報告および19年度の活動計画が報告された。
- ・ 広報小委員会（武若委員）
論文集データベースの維持管理は、これまで、小林先生（岐阜大学）の個人的な尽力によりなされていたが、昨年度より広報小委員会の正式な業務となった。これに伴い、著者が提出する海岸工学論文原稿データからのデータベース用素データ抽出を、海岸工学論文集を印刷する業者に正式に依頼することとした。これにかかる費用は、第54巻については1論文当たり300円となる。
「土木学会重点研究」の成果について、第54回海岸工学論文集、APAC2007、において成果発表予定、土木学会誌にて報告予定である。

委員長および副委員長

- ・ 論文編集小委員会 委員長：間瀬委員、副委員長：横木委員
- ・ 沿岸域研究連携推進小委員会 委員長：青木委員、副委員長：田中氏（鹿島）
- ・ CEJ 編集小委員会 委員長：柴山委員、副委員長：水谷（法）委員
- ・ 広報小委員会 委員長：武若委員、副委員長：森氏（大阪市大）
- ・ 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会 委員長：今村委員、副委員長：富田氏（港空研）

新小委員会の設置について

後藤委員から「数値波動水槽」（仮題）に関する研究小委員会の設置が提案され、了承された。

委員長：後藤委員、副委員長：岡安委員

この小委員会には、「数値波動水槽の基礎理論」、「数値波動水槽と漂砂の計算力学」、「数値波動水槽と海岸構造物設計」の3つのWGを設け、各10名程度の構成とする。現時点での構成員案が示されたが、各WGに参加意思のある研究者を募集し、委員の補充を行う予定である。

10. 2007年度（第43回）水工学に関する夏期研修開催について（橋本委員）

資料に基づき、今年度の開催の詳細が報告され、参加の検討が依頼された。

11. その他

- ・ 7月21日海洋工学パネル、来年3月18日19日に海洋工学シンポジウムが開催されるとの報告があった。海洋工学シンポジウムについては、参加だけでなく、論文の投稿もお願いしたい。なお、参加論文投稿は11月中旬頃である。（大山委員）
- ・ APAC2007（南京）の開催、Coastal Dynamic2009が東京で開催予定である。（佐藤幹事長）